

事業番号	05 07 01	事業改善シート(25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	保険者支援事業				担当課	部局	健康福祉部	
						課・室	介護支援課	
						E-mail	kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト	6-2 いきいきと安心して暮らせる社会づくり						
	施策の総合的展開	1 高齢者福祉の推進			実施期間	H11 ~		

1 事業の概要

目指す姿	介護保険法に基づき、保険者である市町村等に対し県が必要な助言及び適切な援助を実施し、保険者の適切な事務処理や介護給付の適正化を目指す。					
現状	介護保険制度の導入から12年が経過し、保険者の介護保険に係る事務処理は概ね円滑に実施されているが、公的負担はますます増加している。そのため、介護保険法の規定に基づく保険者への助言に加え、介護給付の適正化等について保険者を支援する必要がある。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】				
	県民との協働による実施：困難	国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である 介護保険法第5条第2項				
事業内容	① 成果目標(H25)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国会議の伝達会議等開催 4回(H24年度と同じ回数)</li> <li>○保険者実地支援数 8回(全保険者への実地支援が終了しているため、重点支援が必要な保険者数に設定)</li> <li>○国保連システム活用研修会の開催 3回(例年と同じ回数)</li> <li>○ケアプラン点検支援数 15保険者(全保険者の4分の1を支援数として設定)</li> </ul>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績	H25 (当初)	H25 (決算)
	1. 全国会議の伝達・介護支援室管理経費	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国会議の伝達会議等開催(4回)</li> <li>・保険者実地支援(8回)</li> <li>・介護保険事業状況報告システムの管理</li> <li>・県内保険者の介護保険事業月報・年報の作成</li> </ul>	4,079	3,300	4,411
	2. 介護給付適正化推進事業	直接・委託	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付適正化研修会の開催(1回)</li> <li>・国保連システム活用研修会の開催(実地3回)</li> <li>・介護支援専門員派遣によるケアプラン点検の支援及びケアプラン作成研修会の開催(派遣保険数15、研修会2回)(国補10/10)</li> </ul>	2,000	1,795	2,000
			合計	6,079	5,095	6,411

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度	成果目標の達成状況					
	前年度繰越					項目	H24末(実績)	H25			H26目標
	当初予算	6,680	6,372	6,079	6,411			目標	成果	達成状況	
	補正予算					研修会の開催	4回	4回	4回	達成	-
	合計(A)	6,680	6,372	6,079	6,411	保険者実地支援数	7 保険者	8 保険者	8 保険者	達成	8 保険者
	国庫支出金	2,280	2,000	2,000	2,000	国保連システム活用研修会	5回	3回	3回	達成	3回
	県債					ケアプラン点検支援数	19保険者	15保険者	17保険者	達成	8 保険者
	その他( )										
	一般財源	4,400	4,372	4,079	4,411						
	決算額(B)	5,000	4,863	5,095							
概算職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10							
概算人件費	826	826	826	826							
概算事業費(B(A)+C)	5,826	5,689	5,921	7,237							

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保険者支援については、第4期に比べて介護保険料が大幅に上昇した保険者や財政安定化基金から貸付を行っている保険者等、8保険者に対して実地支援を行い、次期プランに向けた要因分析等を行うことができた。</li> <li>○介護給付の適正化については、国保連システム活用研修会、ケアプラン点検支援のいずれも目標どおりの回数を実施し、介護給付適正化を着実に図ることができた。</li> </ul>
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	引き続き、保険者実地支援、国保連システム活用研修会、ケアプラン点検支援を行うほか、介護保険事業の円滑な推進や介護給付の適正化に取り組む。